

## 2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 多摩市立南鶴牧小学校 ] 担当教諭名 [ 虻川 学 ] ( 5年3組 32名 )

相手国・地域 [ メキシコ ]

海外学校名 [ FORMUS ] 担当教諭名 [ Sergio Moreno / Roberto Rodríguez ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教 科	単 元 名	時間数
	総合的な学習の時間	世界に広がる	24

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	日本とメキシコの自然や文化、良いところを伝え合おう
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	お互いの国の良いところを知ること、国同士の距離が縮まること。そうした輪を広げていくことで、この世界を平和なものにしていきたいというメッセージをこめた。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のことをメキシコに紹介するために、自分たちの国について調べたこと。また伝わり易いように工夫を重ねられたこと。</li> <li>・メキシコをはじめ、海外の国々が身近になったこと。海外に対して興味をもった児童が多かったこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめ、児童の中で交流をしている意識が弱かった。テレビ会議も行わず、相手意識が低かったのだと思う。後に、地域に住むメキシコの人に来てもらって交流をしたことで、実感がわき、メキシコを身近に感じられるようになったが、フォーラムの時点で、もっと相手意識を持った交流を考えていくべきだと思った。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流をしたことで場所や言語、人口など基本的なことはもちろん、住まいやスポーツ、歴史や行事などメキシコの文化まで深く知ることができた。また同時に、世界の国々についてももっと知りたいと国際交流への意欲が強まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回もまた、児童にとって大切な経験になったと感じた。メキシコという国について、自然や住居、学校の時程についてなど、日本との違いを知れたことが良かった。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	自己紹介 ⇒画用紙に自分の名前や趣味、好きなものを書いた紙をもちながら写真に撮り、フォーラムにアップして交流をした。	・メキシコの子どもたちの写真をフォーラムで見るたびに、自分たちと同じところや違うところを見つけて、驚いたり喜んだりしていた。	総合4
共有 テーマ学習	10月	・お互いの小学校について紹介 ⇒自分の小学校について調べ、文と写真で紹介した。 ・メキシコについて調べよう ⇒場所や言語などメキシコの基本情報を調べ、学級で発表し合った。	・メキシコの小学校の様子や、お昼ご飯、下校時刻などを知り、羨ましがっていた。 ・調べた情報とメキシコの子どもたちがつながり、身近に感じられるようになり始めた。	総合6
融合 メッセージ 壁画デザイン	10月	壁画に描き込みたいことを子供たちで出し合い、そこからデザインを考えた。メキシコにも伝え、お互いの良いところを紹介し合うということで定まった。	日本の良いところを考える過程で、もう一度自分たちの国について考えられたことが良かった。メキシコの良いところについても興味がある様子だった。	総合2
創造 壁画制作	11月	壁画班が中心となり、みんなで出し合った題材をもとに壁画制作を進めた。点描画にし、全員が一筆入れられるようにした。	できていくことに喜びを味わっていた。日本の良さをすべては描き込めないので、精選していく過程でより日本の良さについて深く考えることができていた。	総合10
評価 振り返り 自己評価	12月	壁画制作や、日本の良さについて伝える活動を通して、学んだことや今後さらに深めていきたいことについてワークシートにまとめ、発表し合った。	自分たちの活動をふり返ったことで、もう一度メキシコとの交流について整理して考えることができていた。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	日本の良さについて、自分たちで考え、調べ、発表することができた。言葉にすることで、自文化の理解が深まったから。
異文化の理解	A	4	メキシコの食事、衣服、住まいや行事、世界遺産など広く知ることができたと、実際の交流を通して身近に感じることもできたから。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	テレビ会議ができなかった分、直接言葉で説明する場面が取れなかった。英語で伝えようという意欲はもたせられた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	情報収集にインターネットを活用し、発表には電子黒板を使った。しかし情報の取舍選択などにはまだ課題が残る。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	A	4	調べ学習や壁画制作を通じて、学級間での交流が盛んになり、より良い人間関係を構築していくことができた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	調べ学習や発表、壁画制作など、互いに協力し、役割分担をしながら作業を進められた。
学習を追究する意欲	B	4	メキシコや、そのほかの海外の国々についてさらに調べてみたいと、国際交流に意欲をもった児童が多かった。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	A	4	英語で伝えようと努力する姿が多く見られた。言葉や絵だけでなく、ICT機器をもっと有効に活用することができたら良かった。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	B	3	鑑賞会は、今後行う。自己評価を行ったことで、改めて自分たちの活動について冷静に整理することができていた。